

## 1 再読文字その3

&lt;書き下し文・意味&gt;

- (1) **すぎたるはなほ** 過ぎたるは猶ほ及ばざるがごとし (行き過ぎているのは足りていないのと同じだ)
- (2) **すべからく** 須らく叱るべきに反って笑ふ (叱らなければいけないときに笑っている)
- (3) **あるがごときなり** 猶ほ魚の水有るがごときなり (ちょうど魚に水があるようなものだ)
- (4) **なほるいらんのごとし** 危ふきこと由ほ累卵のごとし (危ないことはまるで積み重ねた卵のようだ)
- (5) **ときをおもふべし** 須らく常に病苦の時を思ふべし (常に病気で苦しんだ時のことを思い出す必要がある)

## 2 再読文字その4

- (6) **まさにしせんとす** 始皇帝将に死せんとす (始皇帝はいまにも死にそうだ)
- (7) **まさにこれをのまん** 酒を引きて且に之を飲まんす (酒を引きよせて、今にもそれを飲もうとした)
- (8) **なんぞまなばざるや** 盍ぞ学ばざるや (どうして学ばないのか)
- (9) **しなんぞわがために** 子盍ぞ我が為に之を言はざる (あなたは どうして私の為にこれを言ってくれないのか)
- (10) **もってしたがへざる** 盍ぞ漢文を善くする者を以て従えざる (どうして漢文の良くできる者を従えて行かないのか)

&lt;読み方のポイント&gt;

「猶」は再読文字。再読文字は、始めに返り点を無視して読み、その後もう一度返り点通りに読む。猶は「なほ～のごとし」と読み、「まるで～のようだ」と訳す。

「須」は再読文字。再読文字は、始めに返り点を無視して読み、その後もう一度返り点通りに読む。須は「すべからく～すべし」と読み、「～する必要がある」と訳す。

「猶」は再読文字。再読文字は、始めに返り点を無視して読み、その後もう一度返り点通りに読む。猶は「なほ～のごとし」と読み、「まるで～のようだ」と訳す。

「由」は再読文字。再読文字は、始めに返り点を無視して読み、その後もう一度返り点通りに読む。由は「なほ～のごとし」と読み、「まるで～のようだ」と訳す。

「須」は再読文字。再読文字は、始めに返り点を無視して読み、その後もう一度返り点通りに読む。須は「すべからく～すべし」と読み、「～する必要がある」と訳す。

「将」は再読文字。再読文字は、始めに返り点を無視して読み、その後もう一度返り点通りに読む。将は「まさに～んとす」と読み、「今にも～しようとする」と訳す。

「且」は再読文字。再読文字は、始めに返り点を無視して読み、その後もう一度返り点通りに読む。且は「まさに～んとす」と読み、「今にも～しようとする」と訳す。

「盍」は再読文字。再読文字は、始めに返り点を無視して読み、その後もう一度返り点通りに読む。盍は「なんぞ～せざる」と読み、「どうして～しないのか」と訳す。

「盍」は再読文字。再読文字は、始めに返り点を無視して読み、その後もう一度返り点通りに読む。盍は「なんぞ～せざる」と読み、「どうして～しないのか」と訳す。

「盍」は再読文字。再読文字は、始めに返り点を無視して読み、その後もう一度返り点通りに読む。盍は「なんぞ～せざる」と読み、「どうして～しないのか」と訳す。



## 【アプリ版のご紹介】中高生の漢文

再読文字や二重否定、疑問・反語など、漢文の返り点と句法を収録。  
項羽や劉邦を始めとする歴史上の人物や、故事などに関する豆知識も満載！  
アプリ版は、軽快なテンポで多数の問題に挑戦できるので、反復学習に最適です。



## 【他アプリからオマケの一題】

## 中高生の古文

助動詞「き」の連体形はどれ？  
(A) せ (B) き (C) し (D) しか